



鈴木 正範議員

災害時に備えて井戸水を保全せよ

山田町長／補助水利の一つとして検討したい

鈴木 災害発生時には外部からの給水が不能になることも考えられますが、町内で利用可能な井戸はどのくらいありますか。

緊急時の開放協力（協力者登録など）や井戸の保全（水質検査等を含む）のため、何らかの補助または支援等を行なうべきではないですか。

町長 災害発生時は、応急給水の場所や応急給水体制などを策定した「災害対策マニュアル」に基づき対応していきますが、大規模な災害時には、企業団だけの対応では困難も予想されるため、井戸は補助水利として有効な手段の一つです。今後町内の現況調査をおこない、災害時などにおける利活用を検討していきます。



民家に残る貴重な井戸（上浅見川・長畑）

定額給付金を地域振興に役立てよ

山田町長／定額給付金の関連事業はない

鈴木 定額給付金の実施が決定された場合、どのように対応していくのですか。

また、これを活用して地域振興や基金づくりを考えていますか。

町長 定額給付金は、住民への生活支援を行うとともに、地域の経済対策に資することを目的としています。

給付対象者は、平成21年2月1日の基準日

において、住民基本台帳に記録されている者、ならびに外国人登録原票に登録されている者です。

給付額は、対象者1人につき1万2000円ですが、基準日において65歳以上の者および18歳以下の者については2万円となります。支給時期は4月中旬頃を予定していますが、本町では、今回の定額給付金事業に合わせた地域振興に関する事業や基金造成は考えていません。

就学援助制度の利用促進をはかれ

芦川教育長／制度の周知に努めている

畑中 自治体によって、受けられる援助額等に違いがあるようですが、本町の制度はどのようなものですか。

教育長 学用品費や修学旅行費、

学校給食費などを援助しています。合などは、あらためて担任などを通じて制度を説明しています。

また、この制度があることを町民に知らせているのですか。

保護者へは、小学校の入学説明会において説明しており、家庭状況が大きく変わった場

地上デジタル放送の受信に役立てよ

山田町長／緊急雇用対策に役立てたい

畑中 「ふるさと雇用再生特別交付金」

して受信状況の改善に役立てるべきではないですか。

また、2011年7月の地上デジタル放送完全移行に向けて、中継局の整備が進められていますので、これらの施設ができるまでは、受信不可能な所も把握

は、地上デジタル放送への対応促進なども交付対象となりますが、テレビ放送の受信状態が良くない世帯があるという本町においては、こうした交付金を活用

町長 本町においては、短期間の直接雇用ができる緊急雇用創出基金事業を計画しているところでは、

できない所も把握



小学校学習発表会
(平成20年度)



畑中 大子議員

町民の雇用を確保せよ

山田町長／雇用維持に努めている

畑中 雇用状況がたいへん厳しくなっていますが、広野町で働いている方や町外へ働きに行っている方の状況を調査していますか。

今後、町民の雇用を確保する何らかの方策を考えていますか。

町長 町内の工業団地においては、厳しい経営環境の中でも従業員を解雇せず、「取りまと

め休日」などの措置で雇用維持に努めている状況です。

また、町外の雇用者については、ハローワークや相双地域雇用創造推進協議会と連携して相談に応じています。

さらに、雇用の確保については、工業団地に立地している事業所の本社を訪問して雇用継続を要請するとともに、緊急経済雇用対策の取り組みとして、緊急雇用創出基金事業を活用した雇用の創出をはかっていきます。